

# 公表 事業所における自己評価結果

事業所名 ここいる

公表日 令和7年2月28日

回収率 100%

|   | チェック項目  | はい | いいえ                                   | 工夫している点   | 課題や改善すべき点                            |
|---|---|----|---------------------------------------|---|--------------------------------------|
| 環境・体制整備   | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 9  | 0                                     |   |                                      |
|   | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 9  | 0                                     |   |                                      |
|   | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。   | 9  | 0                                     | カーテンやパーテーションを使用してお子様の特性に合った視覚情報を整えています。                         | 今年度も必要な施設整備をおこなってまいります。              |
|   | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。   | 9  | 0                                     | 毎日スタッフが掃除や消毒をしています。おもちゃやぬいぐるみは除菌や洗濯を行い常に清潔な状況です。                |                                      |
|   | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 9  | 0                                     | 子どもたちが体を動かすのに十分な広さの部屋と個別に課題に取り組める部屋を設けています。                     |                                      |
| 業務改善  | 6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。   | 9  | 0                                     | 職員全員が参加できる会議を月に1回以上開催し目標の確認と振り返りを行っています。                        |                                      |
|   | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 9  | 0                                     | スタッフ全員が保護者様の意向を共有できるよう会議を開催し職員が保護者様の思いを把握しています。                 | 今後も保護者様がより身近に感じられるような関係作りを目指します。     |
|   | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 9  | 0                                     | スタッフ会議やデイ会議などすべての職員が参加できる機会があり常に会社全体で業務改善につなげております。             |                                      |
|   | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 5  | 4                                     |   | 今後は第三者による外部評価も検討していきます。              |
| 適切な支援の提供  | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 9  | 0                                     | それぞれの専門分野を活かし、月1回以上の研修を行っています。                                  |                                      |
|   | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 9  | 0                                     | こどもたちを中心にした支援プログラムを作成いたしました。HPで公表しています。                         |                                      |
|   | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 8  | 1                                     | 子ども一人一人に沿ったアセスメントや保護者の意向を伺っています。                                |                                      |
|   | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 9  | 0                                     | 子どもに関わるスタッフ全員がこどもの最善の利益を考えられるように意見を交わしています。                     |                                      |
|   | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 9  | 0                                     | 支援に関わるスタッフがこどもの成長や課題を把握し共有できるようにしています。                          | 毎月、子どもの様子や家族の状況をスタッフ間で共有しています。       |
|   | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 9  | 0                                     | 子どもの特性などを知り今後の支援につながるよう専門職が検査を行っています。                           |                                      |
|   | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9  | 0                                     | こども達の成長の過程の中で常に支援のねらいや支援内容に着目し設定をしています。                         |                                      |
|   | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 9  | 0                                     | デイに関わるスタッフで話し合い立案しています。子どもの発達に合わせ、季節を感じられる制作物や地域の資源を活用しています。    |                                      |
|   | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 9  | 0                                     | 毎年こどもたちの発達状況や世間の流行、地域の行事などを取り入れた活動を行っています。子どもたちの環境や目標を大切にしています。 |                                      |
|   | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。  | 9  | 0                                     | こどもの発達に応じてそれぞれに必要な個別活動と集団活動を行っています。                             | 今後も子どもたちの地域生活につながるために必要な支援を実施します。    |
|   | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 9  | 0                                     | 毎朝、朝礼時に全員で打ち合わせを行っています。   |                                      |
|   | 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 9  | 0                                     | 職員間で支援中の動画を振り返り、気づいた点を多職種で話し合っています。                             |                                      |
|   | 22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 9  | 0                                     | 専門職の視点で記録を記載しています。  |                                      |
|   | 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 8  | 1                                     | 支援会議とモニタリングは定期的に行っており、計画の見直しをしています。                             | スタッフ全員が実感できるよう、スタッフのコミュニケーションを向上させます |
|   | 24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。  | 9  | 0                                     |   |                                      |
| 25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 9   | 0  | 支援や遊びの中にお子さんが楽しみながら「選択」ができる工夫を行っています。 |   |                                      |

|              |    |  |   |   |  |  |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 9 | 0 | 担当者会議やカンファレンスなどには児童発達支援管理責任者以外にもこどもに深く関わる職員が参加しています。                 |  |
|              | 27 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 9 | 0 | 放課後等デイサービスと保育所等訪問を利用することでお子様がより事業所と深い関わりが生まれていることを保護者様に実感していただいています。 |  |
|              | 28 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。                    | 9 | 0 | 送迎時間の確認などは紙媒体やメールで保護者や学校と連携を取っています。                                  |  |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                                   | 9 | 0 | 支援相談員を中心として会議や文書を媒体として情報共有を行っています。                                   |  |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                            | 6 | 3 | 該当者がいませんでした。   | 今後、そのようなケースがある場合は学校卒業後の移行先と連携していきたく思います。   |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                                    | 5 | 4 |  | ここの放課後等デイサービスは、児童発達支援センターとの多機能型事業所です。スタッフ全員がその役割を担えるような意識づけを大切にします。                |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 2 | 7 |  | 個人情報に配慮しながら検討します。  |
|              | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。  | 7 | 2 | 児童発達支援管理責任者が参加しています。   |  |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 9 | 0 | 連絡帳のやりとり、送迎時にスタッフと保護者が対面で子どもの状況を伝えあっています。                            |  |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 7 | 2 | 保護者さまとの面談や家庭訪問を中心に行っています。  | 今後も保護者様の希望する情報を提供していきます。   |
| 保護者への説明等     | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 9 | 0 | 契約時に児童発達支援責任者が丁寧に説明を行っています。  |  |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 9 | 0 | こどもの意思を第一に尊重した支援を行いながら保護者様の気持ちや意向を確認しています。                           |  |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 9 | 0 | 放課後等デイサービスの計画は保護者様に対面で説明しサインを頂いています。                                 |  |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 9 | 0 | 家族様から気軽に相談をしていただけるように常に保護者様の状況を確認しながら面談のお声かけをさせていただいています。            |  |
|              | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 6 |  | 依頼があれば父母の会の活動案内等を玄関に掲載しています。スタッフが父母の会が企画する勉強会の講師をしました。事業所の取り組みがスタッフ全員に周知できるよう努めます。 |
|              | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 9 | 0 | 常に保護者様からの苦情や要望は真摯に対応し解決策を模索しています。                                    |  |
|              | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 9 | 0 | HPで発信をしています。職員が日々のブログを更新しています。                                       |  |
|              | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 9 | 0 | 個人情報の取扱いについては職員全員で確認合っています。  |  |
|              | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 9 | 0 | 子どもにとって有効な意思疎通手段を使用しながら、保護者さまも連絡ノートや口頭で行っています。                       |  |
|              | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 1 | 8 | 地域の行事に利用者様を(水上スポーツセンター)誘っていただきました。                                   | 個人情報等の扱いに配慮しながら取り組める方法を考えていきます。  |
| 非常時等の対応      | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 9 | 0 | 避難訓練や衛生管理における勉強会を行っています。   |  |
|              | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 9 | 0 | 業務継続計画を策定して毎月の避難訓練を行っています。   |  |
|              | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 9 | 0 | 契約時に服薬やてんかん発作の有無の確認を行っています。(アセスメントに記載し職員に周知しています)                    |  |
|              | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 8 | 1 | 食物アレルギーのあるお子様は保護者様と医療機関による診断書を提出していただいています。                          |  |
|              | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 9 | 0 |  |  |
|              | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 9 | 0 |  |  |
|              | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 9 | 0 | 毎月の職員会議でヒヤリハットを共有しています。  |  |
|              | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 9 | 0 | 虐待・身体拘束防止委員会が中心となり勉強会を行っています。  |  |
|              | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 9 | 0 | 身体拘束は基本的に行っていません。  |  |

# 公表 事業所における自己評価総括表

|                |           |    |              |
|----------------|-----------|----|--------------|
| ○事業所名          | ここいる      |    |              |
| ○保護者等評価実施期間    | 令和6年11月1日 |    | ～ 令和6年12月31日 |
| ○保護者等評価有効回答数   | (対象者数)    | 40 | (回答者数) 35    |
| ○従業者評価実施期間     | 令和6年11月1日 |    | ～ 令和6年12月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)    | 9  | (回答者数) 9     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月28日 |    |              |

○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                          | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 多職種が連携した支援により子どもの成長がバランスよく整いながら身体的、精神的に安定した成長ができる。                  | 活動内容が身体機能を中心に多くのプログラムがありガイドラインに示しているものを網羅している。                        | 子どもたちの視点で「楽しく感じる」、「またやってみたい」と感じ、それが成功体験につながり、子どもの生活全般によりよい影響が出るものを探求していきたい。 |
| 2 | 支援プログラムや活動内容が充実されており子どもたちが主体となって楽しめる。                               | 個別支援や集団支援があり、子どもに合わせたサービスを提供できている。特に土曜日は実行機能プログラムを行いより専門的な視点で支援をしている。 | 個別支援のご希望が多く間に合っていないので職員体制などを強化できるよい。  |
| 3 | 相談体制や家庭訪問などの家庭支援が充実している。保護者様に寄り添った支援をすることでお子様の家庭生活にも安心感をもたらすことができる。 | 保護者さまの状況などを確認しながら保護者様のご都合の良い日時で面談や家庭訪問を行っている。                         | 保護者様から面談の希望をもっと気軽に発信していただけるよう、努力していく。                                       |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること      | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                           |
|---|---|--|--|
| 1 | 児童発達支援センターとして発信できているサービスが少ない。                   | 児童発達支援センターとして1年目だったため、必要とされていることを模索している状態だった。            | 利用者や地域の皆様が求めている課題を行政機関や相談支援事業所と連携し取り組んでいけるとよい。 |
| 2 | 保護者同士で交流する機会が少ない。またきょうだい同士で交流する機会を設けるなどの支援が少ない。 | 就学やライフステージの移行時などで保護者発信で交流が出来ると良い。保護者様も仕事などでお忙しく日程調整が難しい。 | まずは、保護者の方のニーズを面談などを通して確認していく。                  |
| 3 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている機会が少ない。           | 第三者による外部評価を受ける機会が少なかった。                                  | 必要に応じて第三者による外部評価を受けることを会社として検討していく。            |